

《研究課題名》

画像診断検査のテキスト情報を用いた異常検知手法の検討

《研究対象者》

2018年4月1日～2025年12月31日までに当院で画像診断検査（CT、MRI、RI、XP）を受けた患者

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の画像検査依頼内容と結果の所見を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（8）の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

検査内容や画像所見のテキスト情報から非典型的な症例を自動で発見するシステムの構築を目指し当院で検査された方の検査についての情報から機械学習等の手法を用いて検討を行う

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2028年12月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 放射線部 福井悠介

（2）研究の意義、目的について

《意義》

この研究によってデータベース等から非典型例を効率良く抽出し教育や研究に生かすことができる。

《目的》

非典型的な検査を検査内容や所見から何らかの指標として出力することで非典型症例を自動で発見するシステムの構築を目的としている。

（3）研究の方法について

《研究の内容》

滋賀医科大学で画像検査を行った方の検査内容やその結果をもとに機械学習モデルを作成し、非典型的な検査や結果となった検査を特定する。

《利用し、又は提供する情報の項目》

画像所見に記載されている検査依頼や診断名、その検査の所見などの情報から氏名や ID 等の個人情報を除いたデータ

《情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

(4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの情報から、あなたを特定できる情報(氏名、生年月日、住所等)を除き、その情報が誰のものであるか分からない状態にします。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 放射線部 福井悠介

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2652

メールアドレス：fyusuke@belle.shiga-med.ac.jp